

★「高企連携」News & Topics	
北海道	職業観を形成する etc. 2
東北	経済界の担い手育成 etc. 3
関東・首都圏	「日光学」で得る知見 etc. 4
東海・北陸	自己肯定感を高める etc. 5
近畿・中国・四国	自動車関連業界 etc. 6
九州・沖縄	課題解決型学習 etc. 7
グローバル	フランスレポート 8

支援 & 就職 ジャーナル

高校の先生方との連携による紙面編集

「キャリア&就職支援ジャーナル[高等学校版]」は高校の先生方と民間企業・行政機関、および大学・短期大学・専門学校等を結びつけるフリーペーパーです。Career & Job-hunting-activities Times for High School teachers [通巻第59号]

令和6年3月新規卒業予定者の就職内定率91.1%、次年度の日程は例年通り

進級を目前に控え、卒業後の進路選択に真剣に向き合っている高校2年次生は決して少なくないだろう。「進学」「就職」の別を問わず、将来への期待と不安が入り混じるのもこの時期かもしれない。今号では、厚生労働省や文部科学省から発表された最新の就職に関するニュース&トピックスについてお届けする。

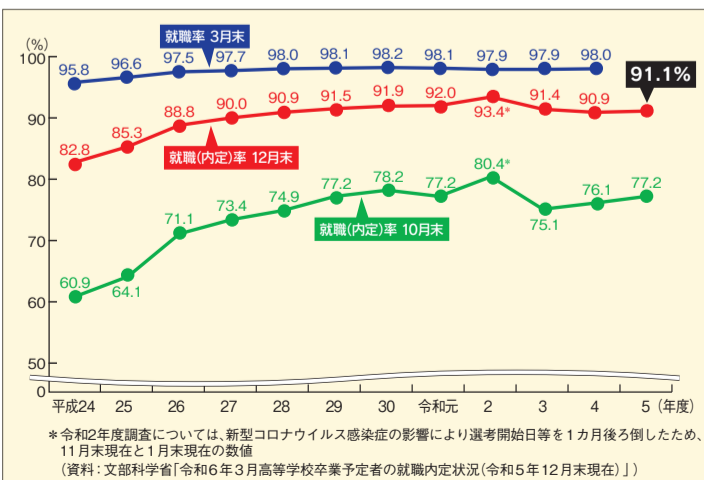
最新の就職内定率が明らかに 91.1%で前年同期比0.2%増加

文部科学省は2月22日、「令和6年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況(令和5年12月末現在)」の調査結果を公表した。

発表によれば、令和5年12月末現在の高等学校新規卒業予定者は92万8,080人。そのうち就職希望者は12万9,233人で、就職内定者は11万7,713人だった。「就職内定率」は91.1%で、前年同期比0.2%増加したことが明らかになった。学科別では、就職内定率が高い順から「工業」96.6%、「商業」94.5%、「農業」93.5%、「看護」91.7%、「福祉」90.8%、「家庭」89.6%、「総合学科」89.0%、「普通」84.5%と続いた。

特定の分野の専門知識や技術、資格を得ることが可能な「専門学科」には、興味・関心のある分野がすでに明確な生徒が集まりやすい。相対的に実習や実践などの授業も多く、卒業後の進路として高校3年間での学びに直結した企業への就職を考える生徒も少なくない。企業としても即戦力が期待できることから求人数が多かったり、高校側としても就職支援体制を整えていたりするケースも少なくない。

■新規高等学校卒業(予定)者の就職(内定)状況



一方、一般教科の学習を中心に幅広い教養を身につけることを目的とする「普通科」や「総合学科」では、就職に限らず大学や専門学校への進学を目指す生徒が多く、相対的に就職に向く意識よりも「進学」に向けられる視線の方が強い。現役生の大学(学部)進学率が56.8%に達する昨今では、ますますその傾向が強くなり、そうした生徒に対するカリキュラムが組まれていることも少なくない。

都道府県別は富山県がトップ 県外就職が選択肢の一つに

「都道府県別」の結果を見ていこう。就職内定率が最も高かったのは「富山県」で、97.8%とトップを記録。以下、「三重県」96.6%、「山口県」「福島県」が同率で96.3%、「福井県」96.1%、「岩手県」95.8%と続いた。反対に低い県は、下位から「沖縄県」67.1%、「神奈川県」81.7%、「東京都」83.6%、「高知県」85.5%、「千葉県」85.6%、「北海道」85.7%だった。

下位の都道府県では、とりわけ県内就職内定率が低い。特に、神奈川県や東京都、千葉県などの首都圏は交通の便が良く、自宅通勤のできる範囲が広いのが特徴だ。県内にとどまらず、一都三県を広く就職可能圏

困として考え、より待遇や福利厚生が充実していたり、自身の目指すキャリアプランを実現できそうだと感じたりする企業を選ぶ高校生も少なくないだろう。

沖縄県や高知県では、求人倍率の低さが目立っている。厚生労働省が公表している「令和6年3月高校新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職・就職内定状況(令和5年9月末現在)」の取りまとめでは、沖縄県の「新卒求人倍率」が1.71倍だったことが明らかになった。これは、求職者一人当たりに対して1.71件の求人数があることを示しており、全国最高の東京都の12.54倍と比較すれば約7倍もの格差がある。求人倍率の低い地域では、県外就職も視野に入れる生徒もいるようだ。

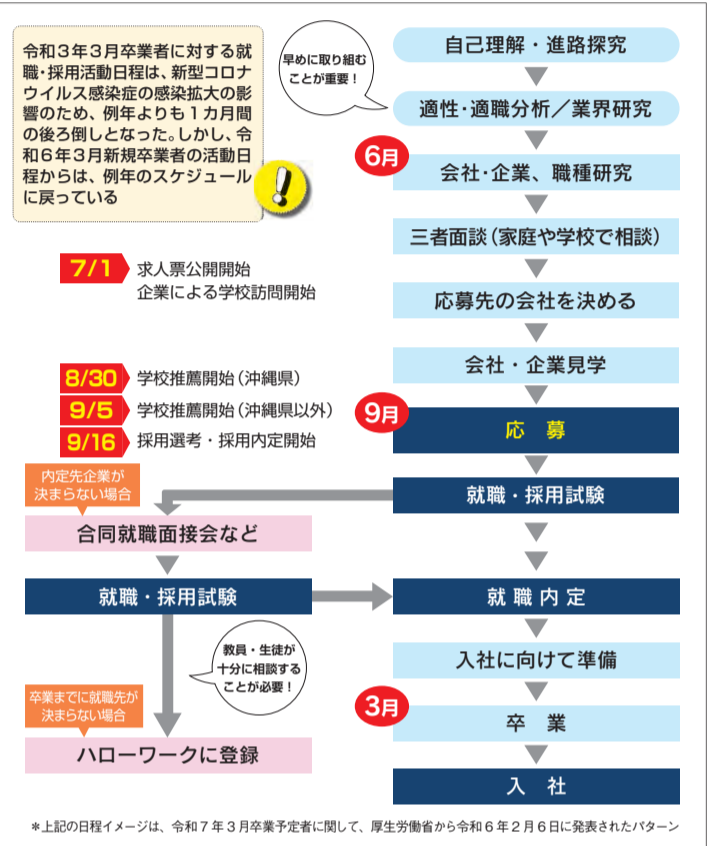
高校生の就職活動日程が決定 業界研究を早めに進めよう

厚生労働省は2月6日、「令和7年3月新規高等学校卒業者の就職に係る採用選考期日等」の取りまとめ。新規高等学校卒業者の採用選考期日等は、全国高等学校長協会(本部東京・港区)、主要経済団体、文部科学省および厚生労働省が「高等学校就職問題検討会議」を開催し、高校を卒業する生徒等の採用選考期日等を取りまとめることになっている。

発表によれば、令和7年3月に高校を卒業予定の就職志望者に対する採用選考期日等は、「ハローワークによる求人申込書の受付開始」が6月1日、「企業による学校への求人申込及び学校訪問開始」が7月1日、「学校から企業への生徒応募書類提出開始」が9月5日(沖縄県は8月30日)、そして「企業による選考開始及び採用内定開始」が9月16日からとなり、昨年と同様のスケジュールになることが正式に決定した。

現・高校2年次のみなさんは、この採用選考スケジュールをしっかりと理解し

■就職・採用活動のフローチャート



た上で、早めに自己分析や業界研究を進めるようにしよう。3年次になると、履歴書の準備や面接練習などに多くの時間を割かなければならず、多数の企業を比較・検討していくための材料となるさまざまな情報を十分に得られなかったり、職場見学に参加できる時間が不足してしまったり、あるいは全く見学すらできなくなったりする者が一定数いるとの指摘がある。こうした「準備不足」を防ぎ、自分に最適な企業を見つけ出すためにも、2年次の3学期または3年次の1学期に実施される校内・外の「業界研究型」の進路・就職ガイダンスに積極的に参加すると良いだろう。

「業界研究」では、仕事内容や求められる人物像を確認しておくことはもちろん、業界動向や社会経済の動きについて理解を深めておきたい。なぜなら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大やウクライナ情勢、少子高齢化など、私たちの生活を取り囲む多様な事象は、高校新卒者の就職環境やその後の雇用環境と密接につながっているからだ。

例えば、日本の総人口が減少の一途をたどるのに対

して、高齢者人口は年々増加しており、とりわけ介護を中心とする医療・福祉の分野では、人手不足が危機的な状況に陥っている。また、株式会社帝国データバンク(本部東京・新宿区)が2月26日に公表した「人手不足に対する企業の動向調査(2024年1月)」では、「医療・福祉・保健衛生」に加え、個人宅向け配送が増加傾向にある「建設」や活況なインバウンド需要が目立つ「旅館・ホテル」のほか、世界中で加速化するデジタル化に対応する「情報サービス業」においても人手不足に悩まされていることが明らかになった。

これらの業界では、人手不足を解消するための手段として、賃上げや待遇、福利厚生の見直しを進めている企業が少ない。そのため、より優秀な人材を確保することを目的に人材獲得競争が激化している業界もあるようだ。複雑な社会経済の動きは、賃金はもちろん、働き方や企業の将来性、さらには就職活動そのものにも影響を与える。地元企業への就職が第一であっても、日常的に地球規模の動向に注意を払う必要があるだろう。



北海道

職業観を形成する授業

ジャーナル・アイ 高校生の就業体験活動



北海道浦河高等学校

進路を考える授業を1年次より実施 活動の過程で育まれる力に注目

北海道浦河高等学校（北海道浦河郡浦河町、齊藤雄大校長）は、「自主」「敬愛」「努力」を学校教育目標に掲げ、共生社会実現に資する人材の育成に注力している。1・2年次より進路目標の実現に向けた外部とのつながりを持つ取り組みを実施。進路指導部長の安齊亮平教諭にお話をうかがった。

●待遇よりも重きを置く仕事と場所

北海道浦河高校の総合学科では、すべての教育活動を通してキャリア形成をサポートしているのが特徴だ。生徒は、2年次から自分の進路や興味・関心に合わせた科目選択を行う。基本的には、希望進路に合わせて「人文科学」「自然科学」「情報・ビジネス」「地域創生」の4系列から選択し、その系列に置かれた科目を中心に選択科目を決定。学びを深めていく。

進学にしろ就職にしろ、生徒の希望を実現するために、多様な学習ニーズや目指す進路等に対応した取り組みなど、総合学科の特色を十二分に活かした教育活動を実践している。

進路指導部長の安齊亮平教諭は、令和6年3月卒業予定者の就職状況につい

て、3年次の在籍生徒数88人に対して、就職希望者は19人ととどまったと明かす。「進学志望者が年々増えている印象があります。現時点で16人が決定しており、数字の上では、民間企業就職のほうが多い結果となりました」と語り、内訳に関しては、管内が14人、道内が2人という状況だとした。

今回の就職志望生徒の傾向は地元志向で、仕事を選ぶ際に重視しているのは給与や待遇面よりも仕事内容と就労場所だという。そのため、地元企業との連携をより密に図って就職指導を行っていくことを意識したと振り返った。

●進路を意識させる授業を展開

北海道浦河高校では、1年次の「産業社会と人間」、

2年次の「総合的な探究の時間」における探究活動を軸としてキャリア教育を展開している。

「産業社会と人間」では、4月の後半から5月中旬をメドに「職業人講話」を実施し、大学・専門学校・地元企業から話を聞く機会を設けている。6月半ばには「上級学校訪問」として、大学や専門学校を訪れる機会を用意する。「働く」ということを生徒が実感し理解をすることで自己の進路を早くから見詰め、就職や進学などの具体的な将来のビジョンを描きやすいように導いていく。

2年次には、地域と地元企業に対する理解を深める「町内インターンシップ」、町外での就労体験を通じ職業観を養い社会とのつながりを学ぶ「フィールドスタディ」、そして大学での生活や学習、講義を体験する「アカデミックインターンシップ」を実施する。また、ボランティア活動を通

して生徒が地域社会と関わりを持てる工夫がなされており、それが奏功して令和5年度は外部での活動が活発に行われたという。地域社会における外部とのつながりの中で、生徒一人ひとりの職業観の形成を図っている。

安齊教諭は、1・2年次に行う活動や研究の結果はもちろん大事であると前置きした上で、「過程で育まれる協働する力などが大切です。それが社会で通用する力につながっていくのだと思います」と、力を込める。生徒同士で探究活動を行う際、スケジュールを意識して動く力であったり、活動を円滑に行うためのコミュニケーション能力であったり、あるいは同級生がどう動いているかを把握して活動を進めていく広い視野を身につけることであったりなどを考えれば分かりやすいだろう。

探究活動だけではなく、資格取得時の勉強の積み上げも社会に出て役立つ資質・能力の育成につながってくるという。情報・ビジネス系列の生徒は、さまざまな検定を受験する。その検定試験の合格・資格取得



進路指導部長 安齊亮平 教諭

に向けた試験勉強の際に、合格まで完遂する力やスケジュールの力が求められるという。生涯にわたって必要となる主体的に考えて判断できる力、計画を立て継続的に努力していく力を自然と身につけていくことができる体制が教育活動の中に組み込まれている。

●進路活動をより良い形へ昇華

安齊教諭は今後の目標として、インターンシップ等の活動は、令和5年度よりキャリアガイダンス部から進路指導部に移行してきたこともあり、「6年度以降は生徒の成長に役立つものにさらにブラッシュアップを図っていきます」と、展望を語る。今後も探究学習を通じたキャリア観の育成、人と人や社会と人を接続した社会貢献意識の涵養、知と知を往還させ未知の状況でも活用可能な知識・技能の習得を目指していく。

Journal's Eye

北海道教育委員会

実施率 93.7%で前年度比 17.3%上昇 進路意識を醸成する就業体験活動

●卒業後を見据えた取り組み

北海道教育委員会は、道立高等学校および中等教育学校を対象に「高校生就業体験活動（インターンシップ）推進事業」を実施している。

高校卒業後の高等教育や職業との円滑な接続を図ると共に、関連する教育機関や地域、地元企業等と相互の連携・協力関係を確立して、卒業後の進路先で求められるであろう資質・能力を着実に育成することが目的だ。高等学校等におけるインターンシップについては原則として、すべての生徒が参加することも定めている。

令和5年3月に調査が実施された「令和4年度インターンシップ実施状況等調査結果（道立・全日制）」の概要を見ていこう。

今回の実施学校数は、全日制道立高校191校のうちの179校。インターシ

ップの実施率は93.7%となり、令和3年度の76.4%と比較すると、17.3%上昇した。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響を受けつつも、各学校の工夫により令和4年度は多くの学校でインターンシップを行う動きが見られたようだ。

●最多となった2学年の実施

実施人数については、1学年が4,561人、2学年が7,721人、3学年が957人で、2学年で実施する学校が多いことが分かった。「3年間を通して1回以上体験した生徒数」は、全体で34.1%を占め、令和3年度より2.6%高くなった。

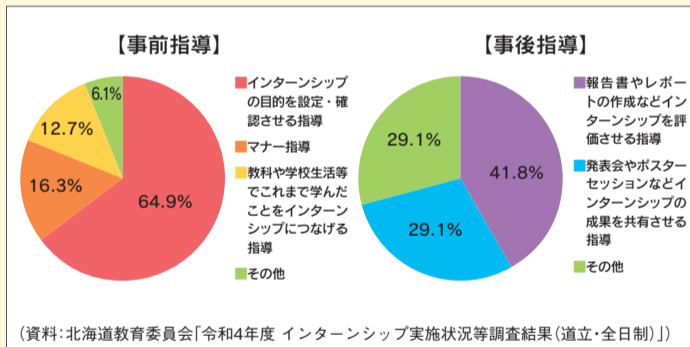
「職業分類による体験者数」の項目では、「専門的・技術的職業従事者」の体験者が39.6%で最も多かった。以下、「サービス職業従事者」18.8%、「販売従事者」

9.8%と続いた。その反面、「管理的職業従事者」「運搬・清掃・包装等従事者」「輸送・機械運転従事者」の体験者数は少なかった。

「実施日数ごとの体験者数」の項目では、「1日間」が38.4%と最も高かった。以下、「2日間」が32.3%、「3日間」が24.8%だった。実施日数の変更の必要性について、91.2%の学校が「そのままよい」と回答しており、3日間以内の短期で職業体験を希望する学校が多かった。

「事前・事後指導にかけた時間（授業時間）と指導内容」の項目では、事前指導にかけた時間は「1～5時間」が50.1%と最も多かった。指導内容に関しては「インターンシップの目的を設定・確認させる指導」が64.9%、「マナー指導」が16.3%、「教科や学校生活等でこれまで学んだことをインターンシップにつな

■事前・事後指導の内容



（資料：北海道教育委員会「令和4年度インターンシップ実施状況等調査結果（道立・全日制）」）

げる指導」が12.7%だった。また、事後指導にかけた時間は事前指導と同様に「1～5時間」が57.6%と最も多かった。そのほか、「報告書やレポートの作成などインターンシップを評価させる指導」が41.8%、「発表会やポスターセッションなどインターンシップの成果を共有させる指導」が29.1%だった。

●進路選択の土台を築く

「インターンシップの成果等」の項目では、「生徒に関する成果」「受入事業所が捉えている成果」「保護者が捉えている成果」を見てみる。まず、生徒は「進路意識を明確にすることが

できた」が70.4%と最も高く、次いで「自己の個性や適性を把握し、自己理解を深めることができた」が65.4%だった。受入事業所は「学校や生徒に事業内容等を理解してもらえる機会になった」が74.3%と最も高く、次いで「学校との連携ができた」が56.4%だった。保護者は「子どもが自分の進路について真剣に考えるようになった」が72.1%と最も高く、次いで「子どもが働くことの大切さを理解するようになった」が44.1%だった。インターンシップ実施による影響は、どの立場からもプラスに働いたととらえて良さそうだ。



「総合進学」と「特別進学」の2コース体制 生徒のニーズに合わせた進路サポート

「畏神愛人」を建学の精神に掲げ、個々の生徒の能力・適性に合った学習環境を整備する弘前学院聖愛高等学校（青森県弘前市、山上猛美校長）。系列大学への進学をはじめ、県内外の大学進学や就職など、幅広い希望進路の実現へと導く進路サポートに迫った。

●学力と人間性を育む教育

弘前学院聖愛高校は「総合進学」と「特別進学」の2コース体制のもと、確かな学力と豊かな人間性を育み、生徒の希望進路の実現に注力している。

総合進学コースでは、中学校段階までの学びを確実なものとした上で高校における学習を深めつつ希望進



就職を希望する生徒を対象に企業見学を実施

路の実現を手厚くサポートし、県内外で活躍する人材を育成する。部活動に励む生徒、趣味に打ち込む生徒、マイペースに勉強に取り組む生徒など、背景が多様な者が混在しており、将来についてしっかりと考える取り組みが充実している点が特長だ。

特別進学コースでは、主体的な学習の推進により、知識力・論理的思考力・表現力等の資質や能力を養い、国公立大学・難関私立大学の現役合格を目指す。日常の学習はもちろん、部活動や生徒会活動などにも

励む生徒が多いという。

●3年間を通じた進路指導

弘前学院聖愛高校では、高校3年間を通じた進路サポートを実施している。

1年次には、「学習習慣の確立と自己分析」をテーマに、中学校までの学習内容の定着度を確認し、学習のサポートを行う。また、適性検査ツール等を用いて生徒が自分自身の適性を把握する機会を設け、「いまの自分がやりたいこと・できること」と「社会で求められる力」をつなげていく。

2年次には、個別生徒が関心を抱く分野への理解を深める。進学希望者は、大学の講義を受講する機会などを通じて学問に対する興

味・関心の幅を広げる一方、就職志望者は「就職説明会」や「就職ガイダンス」「企業見学会」などに参加し、働くことへのイメージを具体化していく。

3年次には、生徒一人ひとりに教員がつき、親身なサポートを展開する。進学希望者には学力強化はもちろん、小論文対策や面接指導、就職志望者には求人票の見方や履歴書の書き方を指導するほか、模擬面接も実施。内定者セミナーを開催するなど、内定後のフォローも欠かさない。

全体的な比率では、大学や短期大学、専門学校に進学する生徒が比較的多いと聞かすが、就職を目指す者に対する支援も手厚い。個別最適なサポートが行き届いているからなのだろう、「元気に挨拶ができる」「コミュニケーションがしっかりと取れる」などというよう



実際に働く人を間近に見て、その職業の社会的役割を理解する

に、企業側からしばしば高く評価される。

とはいえ、「働くこと」の責任に対する理解が不十分だったり、自身の適性にそぐわない職種や業界を選択したりする生徒がいることも課題だ。今後は、これまで以上にそうした生徒に対しても親身なサポートを心がけていき、職業理解を深め、仕事に対する意欲を持った生徒の育成に注力する。また、どの進路においても必要不可欠な「主体性」「他者とのコミュニケーション」「誰かの役に立ちたいと願う情熱」を養い、生徒の進路実現を支えていく構えだ。



次世代に向けた「新しい学校づくり」 経済活動を身近に感じられる学び

専門分野の知識・技能を身につけ、変化の激しい時代をたくましく生き抜く力を備えた人材の育成を目指す山形市立商業高等学校（山形市、小林勝喜校長）。経済活動との多様な接点を取り入れた教育活動について、進路指導担当の島貴祥寿教諭にお話をうかがった。

●新校舎と新たな学科体制

山形市立商業高校の開校は大正7年。現在まで100年以上の歴史を持つ伝統校だ。「言うことと行いに偽りがなく」「自己を偽らず、他を偽ることなく、真心をもって物事をなす」を意味する「輪誠」という校訓のもと、「他から信頼される人」を育成する教育活動を展開してきた。

次なる100年に向けてスタートを切った同校は、「新しい学校づくり」として、山形市のバックアップのもとで校舎等改築事業を

推進している。令和4年4月には新校舎棟と体育館棟が完成し、学びの拠点となる多目的大講義室をはじめ、図書館と食堂を一体的に設計したラーニング・コモンズを設置。今後の社会の変化にも十分に対応できる学習環境を整備した。

さらに、学科改編も断行し、総合ビジネス科・経済科・国際コミュニケーション科の3学科体制から、「総合ビジネス科」「情報科」「経済科」の3学科体制へと再編した。新たな情報科では、ビジネス活動を行う上で必

要とされる態度や能力を養っていく。

●経済界の担い手を育成する

同校の特長の一つに、「商業人として経済界を牽引する存在」「経済界の担い手」の育成を目指し、経済活動を身近に感じられる機会を豊富に設けている点を挙げることができるだろう。

例えば、総合ビジネス科の選択授業「商品開発」では、製菓メーカーや地元企業と連携し、商品開発・出品を実際に行う。令和5年度は株式会社メルカリ（本社東京・港区）との連携のもと、生徒ならではの想像力を活かした製菓を開発。商品の梱包や発送作業も生

徒自身が担った。2年次には就職志望者を対象にインターシップの機会を設けるほか、職業人を招いたガイダンスも開催。社会の第一線で活躍するビジネスマンから「仕事とは何か」「なぜ働くのか」など、ナマの話を聞く場を用意することで生徒の職業観を育てている。

進路指導を担当する島貴祥寿教諭は、「普段の授業はもちろん、そのほかの活動にも真剣に取り組んでいる」と、生徒を評価する。これまででは考えられないような、例えば大学在学時に起業したり、さらには高校在学中に起業したりしている生徒もいるといい、生徒一人ひとりがそれぞれの目標に向かって努力している様子や志の高さが伝わってくる。

資格・検定の取得・合格に注力している点も見逃せ



令和4年4月に完成した新校舎棟

ない。「日商簿記検定」や「リテールマーケティング検定」のほか、「ITパスポート試験」「実用英語技能検定」などを、生徒は日常の学びの成果を試す場として積極的に受験する。希望進路によらず、生徒はそれぞれが資格・検定の取得・合格を目指すほか、社会的に有用な能力の醸成や経験を培うことに余念がない。

島貴教諭は、高校時代はその後の人生における通過点であると述べつつ、「今後の将来のために、選択肢を広げることができる力を身につけて欲しい」と、心を寄せた。

高校生対象添削教材

書いて考える進路

大学進学希望者の試験対策に有効

生徒に身近な題材で、かつ300字という少ない字数から始めることができるため、文章を書くことが苦手な生徒であっても抵抗感なくスタートさせることができます。

学年を通じた進路指導に活用

各学年の進路指導ポイントや卒業後の希望進路を見据えた「総合的な探究の時間」の流れに対応できるよう、段階的に生徒の進路にちなんだテーマを設定しています。

*本教材は有料でご案内いたします。添削の有無や字数によって金額が変動するため、高校内での実施を希望する場合はお問い合わせください。

お問い合わせ 進路情報研究センター ライセンスアカデミー

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1706
URL https://licenseacademy.jp/

会員企業 募集中心!!

キャリア教育支援協議会

高卒採用は宝の山

森部好樹 著、日経BP社発行

成長企業は高卒新卒者を積極採用していた!

将来の伸びしろが大きく、多彩な現場で活躍できる高卒新卒者の採用実態、社員のインタビューなどを豊富に掲載。スタート・アップ、ベンチャー、中堅・中小企業のための理想的な人材獲得戦略を指南する一冊です。

お問い合わせ キャリア教育支援協議会

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1659 (ライセンスアカデミー内)

キャリア教育の変化に気づいていますか。

キャリア教育支援協議会

・会員企業募集中

キャリア教育支援協議会

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1659 E-mail info@s-kyogikai.com

髙青森ダイハツモーターズ

お客様を笑顔にする

●基幹事業 ダイハツ車の新車・中古車販売、整備・修理、部品・用品の販売、損害保険代理店 など

●設 立 1970年(昭和45年)

●資本金 30,000,000円

●従業員数 268人(令和6年2月現在)

会社の強み・社風

青森県内に直営店舗を10店舗展開し、新車・中古車の販売をはじめ、自動車保険の取り扱いなどをに話せる環境が整っています。 ており、疑問や不安アットホームな雰 ます。すぐに解決できま

〒038-0003 青森市石江字岡部85-3
TEL 017-766-2211
URL https://www.aomori-daihatsu.co.jp/

関東・首都圏 「日光学」で得る知見 多様な進路イベント

栃木県立日光明峰高等学校 地域資源を活用した課題解決型学習 特色ある歴史・文化・自然を体験

「自律」「努力創造」「敬愛奉仕」を指標とし、多様な人々と協働しながら地域に貢献できる人材の育成を目指す栃木県立日光明峰高等学校(栃木県日光市、柴田高志校長)。昨今脚光を浴びるご当地学としての「日光学」(地域課題解決型学習)を紹介する。

●地域に密着した教育

栃木県立日光明峰高校は、「総合的な探究の時間」として日光市のさまざまな地域資源を活用した体験的な地域課題解決学習「日光学」を実施している。自然豊かな観光地である日光市についての理解を深めつつ、少子高齢化や鳥獣被害などの地域課題にも向き合うなど、さまざまな側面から日光市を俯瞰することで、課題解決能力の育成と将来の地域社会を担う人材の育成を目指している。

共通プログラムでは日光の歴史と文化などを通して地域の魅力を再発見する。選択プログラム(1年次)では個別ガイダンスやフィ

ールドワークを実施し、六つのプログラムから一つを選択して学習を進める。例として、「日光と杉」では、木材加工工場や建築現場を見学し、日光の杉の特性と林業が抱える課題などについて学び、多角的な視点で物事を考える能力を育成する。また、施設見学などを通して、林業業界における自動化・機械化の進展をアピールすることで、生徒が林業業界に興味を持つことにも期待しているという。

進路指導主事の福田峻教諭は、「日光市の林業業界の人手不足解消にもつながればという思いで取り組んでいます」と、語る。

また、食育の学びの一環として小学校の給食の献立を考案する「学校給食の献立を考えよう」や、一昨年10月に日光の伝統工芸品を発信する場として開催された「日光てしごと市」の

運営スタッフとしてイベントに参加する「まちづくりって何?」など、地域由来のテーマに関する学習に取り組んでいる。

●「日光学」の知の集大成に注目

福田教諭は、「経験」することに意義があると前置きし、「生徒が、自分自身が暮らす地域がどのような課題を抱えているのかを体験してもらうことが目的です」と、明かす。総合的な探究の時間の学びにとどまらず、将来における地域との関わり方はもちろん、県外から日光市に通う生徒にも自分が住む地域の課題を考えてもらうことが狙いだという。

本年2月には、グループごとに取り組みの内容をまとめた全体発表会が行われた。生徒は「日光学」で得た知見の集大成を見せた。

日光ならではの歴史や文化を念頭に置いた充実した学びを展開する日光明峰高校。今後も地域と協働した教育を全力で推し進めていく構えだ。

日本ウェルネス長野高等学校 地域との密接な交流 希望進路の実現を支援

●幅広い生徒の活躍

日本ウェルネス長野高等学校(長野県東筑摩郡筑北村、柴岡信一郎校長)は、平成30年度に開校した全日制の私立高校だ。「総合」「スポーツ」「ユニバーサルスポーツ」「グローバル」からなる4コース制のカリキュラムを編成し、心身の成長と学力の向上を重視した教育を推し進めている。

同校では部活動も活発で、イキイキと活躍する生徒の姿を見ることが出来る。野球部では、「2023年全国高等学校野球選手権長野大会」においてベスト4進出を果たした。

また、「総合的な探究の時間」や「ロング・ホーム・ルーム」を活用し、高校周辺のゴミ拾いや地元農家の田植え作業の手伝いなど、地域社会との交流を大切にしていることが特長の一つで、地域活性化を念頭に日々活動に尽力している。

●キメ細かな進路指導

生徒一人ひとりに合わせた進路指導に注目してみよ



外部講師を招いた「職業別説明会」によってさまざまな業界のことを理解する

う。1・2学年次合同の「キャリアガイダンス」をはじめ、卒業後の進路を考えるための「ワークショップ」、講師を招いた「職業別説明会」を実施している。

また、3年次においては「進路ガイダンス」のほか、大学・短期大学・専門学校に進学を希望している生徒向けに「個別説明会」を実施している。進学・就職いずれの進路選択においても、生徒の希望に合わせた柔軟な指導によって一人ひとりの進路実現をサポートしている。

文武両道に励む生徒をサポートし、多様な進路指導によって夢の実現を支援する日本ウェルネス長野高校。自然豊かな環境で学びを深めた生徒が大きく羽ばたくために、さらなる教育活動を展開していく構えだ。

株式会社丸和運輸機関

丸和の強みは『一体感』

- 基幹事業 3PL事業、EC事業(ネット通販)、食品物流事業(スーパーマーケット)、運輸・宅配事業
- 設立 1973年(昭和48年)
- 資本金 3億5,000万円
- 従業員数 11,380人

創業以来事業経営で10年以上過去最高益を更新しており、安定性は抜群です!成長の秘訣は生活に密着した「ネット通販・食品・医薬品・生活用品等を取り扱い、モノを運ぶだけでなく、運ぶ「効率的な仕組みを創る」仕事を展開して、教育制度も充実しており、という方も安心して働けます。

〒342-0008 埼玉県吉川市旭7-1
TEL 048-991-0600
URL https://www.momotaro.co.jp/

株式会社モンテール

おやつ時間のワクワクをお届け!

- 基幹事業 チルドデザート(シュウクリームやエクレア等)の製造および販売
- 設立 1954年(昭和29年)
- 資本金 50,000,000円
- 従業員数 1,027人

私たちは「おやつ時間のワクワク」をお届けするため、素材の鮮度追求はもちろん、手作業で味や品質を高められる工程は人々の手を開けるなど製法にこだわっています。つくりにこだわっています。

〒340-0822 埼玉県八潮市大瀬3-1-8
TEL 0120-46-8823
URL https://www.monteur.co.jp/

出光ユニテック株式会社

パッケージの「もと」が製品です

- 基幹事業 合成樹脂(プラスチック)加工製品の開発、製造および販売
- 設立 2000年(平成12年)
- 資本金 26億円[出光興産(株)100%]
- 従業員数 451人

スーパーマーケットやコンビニエンスストアに並ぶさまざまな商品のパッケージのもととなる「素材」が我々の製品です。アを有します(株式会社グミキャンディーの袋など)に使用されるジッパーは国内1位の販売シェアです(2022年版より)。

〒108-0014 東京都港区芝4-2-3 NMF芝ビル6F
TEL 03-6865-8840
URL https://www.idemitsu.com/iut/

台湾太平洋ゴルフサービス(株)

世界レベルの技術を身につける

- 基幹事業 全国19コースのゴルフ場運営、世界的なトレーニング関係、銀座会員制レストラン運営
- 設立 1971年(昭和46年)
- 資本金 26億円
- 従業員数 1,741人

太平洋クラブは、限られた人を対象とした高級会員制ゴルフクラブです。接客や料理などすべて業界からも高く評価の質にこだわり、約2万名の会員様に愛されています。また、

〒100-6228 東京都千代田区丸の内1-11-1 PCP丸の内28F
TEL 03-5219-8195
URL https://www.taiheyoyclub.co.jp

太陽鉱油株式会社

人と人の想いを未来へつなぎます

- 基幹事業 エネルギー販売
- 設立 1971年(昭和46年)
- 資本金 44,000,000円
- 従業員数 900人

当社は物流を支える運送会社に向けた軽油販売をメインに、東日本エリアで直営61店舗のネットワークを有し、世界的なポートしますので、成長の喜びを感じます。充実した社内研修制度で社員を育てています。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-8-1 TTビルディング6F
TEL 03-5641-5215
URL https://www.taiyo-koyu.co.jp/

若者のキャリア形成を応援するスタートアップガイド 近日刊行

就職 仕事 資格 起業

つながる学校 2025 高校時代から考えるキャリアデザイン

「起業」という道 起業のための「学び」

- 高校探訪! 起業家精神を醸成する学校
- これでわかった! 仕事と学びの関係
- 知っておきたい現代「仕事」事情

本誌は高校生がキャリアデザインを描き出す上で役立つ情報や将来の仕事・就職、スタートアップを考える際のヒントとなるトピック、テーマをさまざまな角度から提供しています。

大学新聞社

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1668
URL https://daigakushinbun.com/

東鉄工業株式会社

鉄道工事で人々の暮らしを支える

- 基幹事業 線路・土木・建築・環境等の各事業
- 設立 1943年(昭和18年)
- 資本金 28億1,000万円
- 従業員数 1,883人

当社は、鉄道関連建設業の会社です。人々の暮らしを支える「鉄道の設備メンテナンス」を中心に、「駅・線路」から広がる街づくりを幅広く手がけています。高い専門的技術力と安定した受注の強みを活かして、「社会基盤の創造」に貢献できる会社です。

〒160-8589 東京都新宿区信濃町34 JR信濃町ビル4F
TEL 03-5369-7650
URL https://www.totetsu.co.jp

株式会社東横イン電建

全国を旅して「一緒にホテルをつくらう!」

- 基幹事業 建設業(電気工事、配管工事)
- 設立 1990年(平成2年)
- 資本金 1億円
- 従業員数 140人

当社は全国に展開するビジネスホテル「東横INN」のみを専門に建設する会社です。景気に左右されることがなく、安定して長く働ける会社です。建設業ですが、

〒144-0054 東京都大田区新浦田1-7-4 聖徳ビル2F
TEL 03-5480-1045
URL http://www.toyoko-inn-denken.com

デノラ・ペルメック

電気化学で地球環境に貢献!

- 基幹事業 電極事業、電解槽・環境水処理事業
- 設立 1969年(昭和44年)
- 資本金 90,000,000円
- 従業員数 300人

当社は不溶性金属電極の事業化を目的に、三井物産、三井造船、イタリアのデノラ社の出資により設立されました。以来、化学を生業とする産省エネルギー化に貢献しています。

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2023-15
TEL 0466-87-8831
URL https://japan.denora.com/ja/

東海・北陸 自己肯定感を高める 選択肢を増やす体験



「好き」と「得意」を伸ばす専門科目の学び 地域で将来活躍する有為な人材を育成

静岡県立新居高等学校（静岡県湖西市、野崎真司校長）全日課程では、生徒は2年次から興味・関心や志望する進路に合わせて、コース別に分かれて学んでいく。進路課長の北川博之教諭を訪ね、就職志望者への進路指導について具体的な話をうかがった。

●自己肯定感を醸成

本校は、昭和3(1928)年に「静岡県立新居実科高等女学校」として開校後、途中改称や設置課程の変更などを経て、令和6年で創立96年目を迎えます。約100年にもわたる長い間、地域を支える有為な人材をこれまで多数輩出してきました。



生徒一人ひとりの個性と志望進路に合わせた6コース制を展開

校訓である「勉学」「礼儀」「積善」を実践しながら、心身共に健全で地域に貢献できる人材の育成を目標に掲げた教育活動を展開しています。

全日普通科高校として、多様な生徒一人ひとりの個性と地域のニーズに対応したカリキュラムを編成しているのが特徴です。1年次では、全生徒が「現代の国語」や「数学Ⅰ」などの基礎科目を学びます。

2・3年次になると、興味・関心や希望する進路に合わせて、「工業」「スポーツ」「教養」「福祉」「文系

「理系」の6コースに分かれ、普通科目とそれぞれの専門科目の学びを深めていきます。

キャリア教育としては、高校生活3年間を通して、自己の在り方に自信と誇りを持った“自己肯定感”を養う指導を行っています。

1年次を「自己を探る一年」として、生活面においては挨拶や服装、礼儀などを身につけることや学習習慣の確立、基礎的な学習内容の定着を目指します。

2年次は「自己を拓く一年」と設定し、コース制による学習から自分の可能性をさらに広げるほか、生徒会活動や部活動を牽引する中心学年として責任ある役割を担います。

そして、3年次では「自己実現の一年」として、自己の目標を達成するための知識や技能を習得します。責任感のある社会人として備えておくべきマナーや思考力、判断力、表現力を習得することで、志望する進路をつかみ取ることができるよう力を蓄えていきます。

●生徒が安易に妥協しない指導

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって、求人数が減少した時期もありましたが、現在はそれ以前と同等程度、業種によってはそれ以上にまで回復しつつあります。

令和6年3月卒業生における求人倍率は、3.8倍になりました。希望している企業に就職しやすいと考える生徒も少なくないようですが、企業は選考をしっかり進めたいという意向があるようです。



北川 博之 教諭
進路課長

就職志望者優位の“売り手市場”とされていますが、「志望した企業から必ず内定が得られる」ということが保証されているわけではありません。現に、選考で実施される面接や適性検査、学力検査などは、いままでと変わらず厳格に行われています。

長く定着することができる自分に合った就職先を見つけるためにも、楽観視することなく緊張感を持って活動を進めていく必要があるでしょう。本校では、今後も生徒の志望進路実現に向けてサポートを続けてまいります。



企業説明+仕事体験で深まる理解 自分の進路を主体的に考えていく

岐阜県立大垣養老高等学校（岐阜県養老郡養老町、石黒比利校長）は、西濃地区唯一の「総合学科」と「農業科」を設置する学校だ。進路指導部長の水谷孝彦教諭を訪ね、1・2年次で実施しているキャリア教育について話をうかがった。

●発展的統合による新しい学び

大垣養老高校は、平成17年に「岐阜県立大垣農業高等学校」と「岐阜県立養老女子商業高等学校」の統合によって誕生した。

前身校の一つ、大垣農業高校時代から数えると、大正10(1921)年の創立から103年の歴史と伝統を紡いできた。一方、養老女子商業高校は、昭和23(1948)年に「学校組合立高田女子高校」として開校し、その後の改称を経て、女子を対象とする商業教育に力を入れてきた学校だ。

統合後は、両校が築いてきた特色を融合した「時代に対応した地域社会に役立つ人づくりを目指す学校」として独自の教育活動を展開している。

総合学科では、1年次に生徒全員が共通のカリキュラムを学び、2年次から「ビジネス」「会計」「情報」「生活福祉」の4系列に分かれていく。

各系列で開講される商業系をはじめ、保育や介護に関する科目のほか、「論理・表現Ⅰ」「情報基礎」などの自由選択科目が充実して

おり、その中から自分の志向や興味・関心を基軸にして、将来の“なりたい自分”に向けたオリジナルの時間割を組み立てることが可能だ。

農業科では、1年次は「食の農学科群」「緑の農学科群」、2年生からは「動物科学科」「食品科学科」「園芸科学科」「環境科学科」の4学科編成となり、自分が目指す方向性や志望する進路に合わせた専門科目を選択し、それぞれの専門領域の学びを深めていく。

●就職理解を深める体験

1月31日、令和5年度初めての試みとして「シゴト発見フェスタ」という進

路行事が校内で開催された。2年次の生徒が3・4時限目、1年次生徒が5・6時限目という2コマ分の授業時間を使い、30分間ごとに興味のある企業ブースを訪問するというものだ。

当日は、企業が約30社参加。「企業説明ブース」だけでなく、仕事体験ができる「体験ブース」や企業の製品を展示する「展示ブース」が体育館に設けられた。

進路指導部長の水谷孝彦教諭は、大学・短期大学については、オープンキャンパスなどに参加することで理解を深められるとした上で、「今回のような進路行



「知る」「体験すること」で進路選択の幅が広がっていく

事は、企業の人事・採用担当者と直接話ができる貴重な機会となりました。生徒にとっても初めて知る情報が多く、刺激を受けていたようです」と、手応えをつかんだようだ。

大垣養老高校の進路指導では、生徒にさまざまな選択肢を示すことを目標の一つとして掲げている。生徒が幅広い視野を持ち、主体的な志望進路決定へとつなげられるように、今後も多くの情報にふれられる機会を提供していくという。

高校生対象添削教材
書いて考える キャリア

キャリア教育の視点から添削指導
国語力・文章力の向上を促進するための講評に加え、キャリア教育の視点に立ったアドバイスを行うことで、進路選択のミスマッチを未然に防ぐこともねらいます。

幅広い実践力を習得
生徒に社会との接点を考えさせることにより、小論文や面接に対する実践的な力を養い、大学入試・就職採用試験等の対策としての効果が期待できます。

お問い合わせ 進路情報研究センター
ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1706
URL https://licenseacademy.jp/

愛知県三河地区・静岡県西部の 高校生のための進路応援BOOK

令和7年度入学用 2025 近刊

将来、活躍を目指すフィールドを意識したキャリアを構築するために、有益な情報を多数掲載！進学→就職の成功体験など、地元で就職を目指す高校生のみならず必読です。

▲好評既刊(2024年度版)
巻頭 大学入試改革
特集 ～激変する「入試環境」と「学び」

愛知県三河地区・静岡県西部の 高校生の進路事情

お問い合わせ 進路情報研究センター
ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

ISUZU 三重いすゞ自動車

お客様に信頼されるパートナーに

●基幹事業 新車・中古車販売 など
●設立 1952年(昭和27年)
●資本金 1億5000万円
●従業員数 237人

会社の強み・社風
トラックやバスを中心に、モノや人を運ぶ輸送車両を扱う当社は「運ぶを支える」という使命のもと、三重県下のお客様に個性を大切にす明るい信頼されるパートナーとして、職場環境で、チームワークを発揮しながら県内の物産を支援しています。流を支えている会社です。

〒514-8711 三重県津市垂水字中境505
TEL 059-227-8111
URL http://www.mie-isuzu.co.jp/

OTA 太田商事株式会社

1655年(承応4年)創業の老舗企業

●基幹事業 建設資材、エネルギー、外食事業
●設立 1921年(大正10年)
●資本金 48,000,000円
●従業員数 270人

会社の強み・社風
当社は愛知県の西三河を中心にガソリンスタンド・コメ珈琲を運営し、そのほかにも地域ムタイプの駐車場に根差したさまざまな事業を展開し得制度も充実しています。ワンルーンです。

〒448-0841 愛知県刈谷市南桜町1-73 OTAビル9F
TEL 0566-23-5811
URL http://www.ota-shoji.co.jp/

近畿・中国・四国

自動車関連業界 地域に根ざした仕事

土居石油株式会社

社会インフラを支える気概と地域社会の発展 利用客の「ありがとう」の言葉が仕事のやりがいに直結

広島県福山市内に直営8店舗のサービスステーションを展開し、地域密着型企業として成長曲線を描き続けている土居石油株式会社(本社広島・福山市、土居由希子代表取締役)。会社の特徴や人材育成システム、求める人材像などについてお話をうかがった。

基幹事業は自動車そのもの LPガス事業にも意欲的に進出

当社の基幹事業は石油販売業です。福山市内に8店舗のサービスステーションを展開し、そのうち4店舗はセルフ式を採用しています。このほか、自動車の整備やコーティング、買取販売、また車検やレンタカー事業など、およそ自動車に関わるほぼすべての業務に携わっているほか、コインランドリー事業にも取り組んでいます。

一方、LPガスの販売事業も手がけています。環境にやさしいクリーンで災害に強いLPガスは近年大きな注目を集めており、LPガスの供給とガス機器の販売を行い、人々の快適な生活を下支えています。

当社の仕事の魅力は、大きく二つあると考えています。まずはガソリンや灯油、軽油、重油など、人間の日常生活に欠かすことができない商品を扱っている点です。普段は意識されること

が少ないかもしれませんが、これらの商品がしっかりと市場に供給されなければ、日常生活に大きな支障が出てしまいかねません。当社の存在意義はまさにそこにある、社会生活の基盤となるインフラ産業で働くことは社員の大きなやりがいにつながっています。

二つ目は、顧客から感謝される機会が非常に多いという点です。例えば、ガソリンの給油にお見えになった利用客に「ありがとうございました」と感謝の言葉をいただくことが少なくありません。また、自動車に不具合が出て修理に来たお客様に対応をした時やコーティングの依頼を受けて自動車をキレイに磨き上げた時なども感謝の言葉を頂戴します。当社のサービスは対面での接客が基本であるため、そうした機会は自然と多くなります。面と向かって感謝の言葉をいただけるというのは、仕事をする上で大きなモチベーションにつながっています。

独自4視点から人材を判断 ポイントは「関心のある人」

土居石油株式会社では新規高校卒業者を積極的に採用していることもあって、高校を卒業してすぐ社会人となった若者が現場の最前線で活躍しています。とはいえ、当社では新卒者を即戦力として過度な期待をかけて有為な企業人として育てるという方針を掲げています。そのため、採用時に専門的な知識やスキルはほとんど求めておらず、応募者の人柄や個性、考え方を重視して採用するようにしています。

求める人材像については、①コミュニケーション能力を高めることに関心のある人②自動車の価値を高めることに関心のある人③失敗を恐れずにチャレンジすることに関心のある人④地域に住む人々の生活を守ることに関心のある人—というように、大きく四つの視点から見定めるようにしています。

ポイントは、すべてに共通する「関心のある人」という点です。仮に、応募時点でコミュニケーション能力が乏しくても構いません。高めることに関心があり、成長意欲のある人にぜひ入社していただきたいと考えているからです。該当者は、必ずや当社で活躍することができるでしょう。

先輩社員の親身な指導 多様な研修プログラム

入社後については、まずは各サービスステーション

に配属されて、最も重要となる接客対応力を身につけていきます。給油やタイヤ交換、オイル交換、また洗車や自動車のメンテナンスなど、さまざまな業務がありますが、先輩社員がていねいに指導していきますから、1年以内で基本的なことはひと通りできるようになるでしょう。

一方、当社は日本の石油企業最大手のENEOS株式会社の特約店となっています。そのため、ENEOS社の教育制度を当社の社員は自由に受講することができます。「自動車整備士の資格を取得したい」「接客力に磨きをかけたい」「管理職に昇進するため、マネジメント力を身につけたい」など、社員一人ひとりの希望やビジョンに合わせて研修を受講できる体制となっています。プログラム数は非常に多く、内容も多岐にわたっており、自身の目標に向けて着実に成長していくことができる環境が整えられているのも当社の魅力の一つです。

当社スタッフのキャリアアップについては、おおむね30歳前後でサブマネージャー、35～40歳前後でマネージャーを任せられることが多くなっています。もちろん、サービスステーション勤務以外にも本人の希望や適性に応じて、本社で総務や経理、営業、さらには燃料やLPガス、潤滑油



の配送職などの仕事にチャレンジすることも可能となっています。

働きやすい職場環境を実現 自動車に興味のある人集まれ!!

高校生のみなさんが将来の仕事を想像するのは容易ではないでしょう。小さい頃は誰もが憧れの職業やなりたい何かを胸に秘めていたと思いますが、年齢を重ねるにつれて現実的な考え方が変わったり、興味や関心が変わったりすることがあるかもしれません。

当社ではひと月に一回マネージャー会議を実施しているほか、定期的に店舗を訪問して各店舗の状況を確認・共有するようにしています。訪問した際、その場で店舗や社員に向けたフォローや支援が必要だと判断された場合には、会社として適切なサポートを行っていきますので、新卒者でも安心して働くことができるでしょう。

当社が事業を展開している広島県福山市は車社会であり、自動車が人々の生活に浸透しています。「自動車が好き」「人々の生活を支えたい」という若者は大歓迎です。興味・関心のある方は、ぜひ当社に注目してください。

本紙記者の「福山市内初の「ENEOSランドリー」誕生

土居石油株式会社は、福山市内初となるガソリンスタンド併設「ENEOSランドリー」を開業した。洗濯乾燥機5台、乾燥機8台、スニーカーウォッシャー1台を導入し、24時間監視スタッフが配置されているため、防犯面でも安心して利用することができる。そのほか、最新の精算システムも導入。現金はもちろん、クレジットカードが提供される決済ツール「EneKey」

も利用可能だ。大型洗濯乾燥機では、羽毛布団や毛布など大物は約1時間で工程が完了し、洗濯状況も利用者の携帯電話等で確認することができる。待ち時間も近隣のショッピングモールなどで過ごすことができる。土居石油社は時代の流れに沿って、今後も新たな取り組みを行っていくという。



土居石油株式会社

地域に密着したエネルギーの供給と豊かなカーライフを目指して。

●基幹事業 石油製品販売業、自動車関連商品・車両販売、レンタカー事業など
●代表者 土居 由希子
●設立 1964年(昭和39年)
●資本金 10,000,000円
●従業員数 72人

会社の強み・社風

土居石油株式会社は、ENEOSマークの特約店として広島県福山市を中心にエネルギーインフラ企業としての基盤を築いています。新しい時代においても存在感を高め、社員・お客様の「安全・安心・快適」を企業理念に「お客様の笑顔」を増やし続けるために、①エネルギーに関する問題を解決する②自動車に関する問題を解決する③新しい価値を創造し地域の課題を解決する—の三つのビジョンを掲げ、実現に向けて邁進しています。

仕事紹介

サービスステーションスタッフや配送スタッフなどの仕事があります。サービスステーションスタッフは、ガソリンスタンド店頭での接客がメインの仕事になります。給油作業や洗車コーティング施工、自動車整備などを実施し、セルフスタンドにおいては給油操作の案内等も行います。一方の配送スタッフは、タンクローリー車(2～4t)の運転および重油・軽油・灯油などの配送を行います。仕事を行うには、中型(8t)免許や危険物取扱者の資格や免許を取得していただきます。

高校生のみなさんへ

当社は社員・お客様の「安全・安心・快適」を企業理念に、広島県福山市を中心に地域に親しまれるサービスステーションづくりを目指しています。幅広い年齢層の従業員同士が自発的にコミュニケーションを取り合うことで、雰囲気の良い働きやすい環境づくりにも努めています。また、生活の変化や年齢、適性に応じてキャリアが立てられるため、さまざまな働き方が可能です。新しい時代に向けて、地域での存在感を高め「お客様に笑顔と感動」を提供できるエネルギーインフラ企業として成長し続けます。



〒720-0042 広島県福山市御船町1-12-18
TEL 084-922-1213 URL https://doisekiyu.co.jp/

備考 [関連企業]
土居石油瓦斯株式会社
〒720-0042 広島県福山市御船町1-12-18

九州・沖縄 課題解決型学習 高校生チャレンジ

クラーク記念国際高等学校 鹿児島キャンパス 「夢・挑戦・達成」を支える多彩な取り組み

「Boys, be ambitious」(少年よ、大志を抱け)の名言で知られるウィリアム・スミス・クラーク博士の精神を教育理念に受け継ぐクラーク記念国際高等学校。全国に50カ所以上の教育拠点があり、現在は1万人以上の生徒が学んでいる。本稿では、鹿児島キャンパス(鹿児島市)にスポットを当て、同キャンパスの特徴やユニークな取り組みなどについてレポートする。

生徒の夢を実現する3コース キメ細かい進路指導に信頼感

クラーク記念国際高校の鹿児島キャンパスは、「総合進学コース」「スマートスタディコース」「単位修得コース」の三つのコースを設置している。

総合進学コースは、「総合進学専攻」「国際専攻」「美術デザイン専攻」の三つの専攻から構成される。総合進学専攻は大学や短期大学、専門学校等への進学を



国際専攻では、ネイティブの教員から本場の英語を学ぶことができる

目指す生徒向けの課程だ。国際専攻は、英語科の授業はすべて英語で実施されるのが特徴で、国際・語学系大学をはじめ、海外の大学への進学を目指す生徒もいるという。美術デザイン専攻は、美術やデザインの授業が豊富に設けられ、美術系大学や専門学校進学を目指す生徒を支えるカリキュラムを編成している。

スマートスタディコースは、各自の目標や希望の学び方に合わせて学習できるのが特色で、登校日も一週間に1~5日と、生徒の主体的な選択が可能だ。

単位修得コースは在宅学習が中心のコースだ。登校日は試験などが実施されるひと月に1~2日間程度

で、時間や場所にとらわれることなく高校卒業を目指すことができる。

クラーク記念国際高校では、生徒一人ひとりに対して親身な進路指導を行っており、大学・短期大学・専門学校等への進学はもちろん、就職志望の生徒に対してもキメ細かい指導を行う。進路イベントのタイムリーな実施など、希望進路の実現を支援し、高い進路決定率を誇っている。

地域連携による多数の取り組み 人工衛星の開発にもチャレンジ

鹿児島キャンパスでは、「地域を元気に、地域とつながる」を目的に掲げ、地域の課題に目を向けた「PBL (Project-Based Learning、課題解決型学習)」活動を実践している。

総合進学コースでは令和5年、近隣の小学校や幼稚

園を訪問し、英語の出前授業を通して生徒や児童と交流を図った。また、鹿児島国際大学(鹿児島市)主催のプレゼンテーション大会「高校生よかアイデアコンテスト」にも参加し、「鹿児島県の観光客数増加について」というテーマで発表して佳作を受賞した。

スマートスタディコースでは「第49回熊本県い業大会」に出場し、「い草」をテーマにこれまでの活動内容を報告した。

また、昨年の11月10日には、全国のクラーク記念国際高校の在校生有志によって結成された「宇宙探究部」が主体となって開発した人工衛星「Clark sat-1 (愛称: Ambitious号)」を載せたSpaceXのロケットFalcon9が、NASAのケネディ宇宙センター(アメリカ・フロリダ州)から打ち上げられた。打ち上げ当日は鹿児島キャンパスで文化祭が開催されており、打ち上げの様子はパブリック・ビューイングで生徒や教員全員で見守った。人工衛星



タブレットを活用したデジタル授業が積極的に行われている

Clark sat-1は準備期間を経て昨年12月18日に宇宙空間へ放出され、その様子がJAXAで生配信された。同19日には人工衛星からの信号を初めてキャッチし、現在試験的な運用を継続しているという。

NASAをはじめとする国際機関や周辺地域とのこうした取り組みは、生徒のその後のキャリア形成に資する有益な経験につながっている。また、同校ではオーストラリアやニュージーランド、ハワイなどに留学や国際交流ができるプログラムも豊富に用意しており、海外渡航にチャレンジする生徒も少なくない。

幅広い教育ニーズに応える高校として生徒たちの「夢・挑戦・達成」を支える同校に今後も大きな期待と注目が集まるだろう。



福岡県青少年育成県民会議

未来をつくる高校生チャレンジ 2023 3月28日に成果報告会が開催予定

公益社団法人福岡県青少年育成県民会議(本部・福岡市)は来たる3月28日、福岡県と共催で「未来をつくる高校生チャレンジ2023」の成果報告会をエルガーホールの大ホールで開催予定だ。

未来をつくる高校生チャレンジ2023は、高校生が自分自身の可能性に気づき、能力を磨き、さまざまな分野で才能を活かしながら大きく羽ばたくことができるよう、福岡県内の高校生から指定のテーマに沿っ

たチャレンジプランを募り、採択されたプランの実現を目指すというもの。テーマは「地域活性化」「社会問題」「ワンヘルス」の三つがあり、30件の応募の中から昨年8月にのべ9件のチャレンジプランが採択され、それぞれのプランを実現させるべく専門家の協力のもと日々活動が行われてきた。プランの中には共生社会の実現のために異文化交流イベントを開催する「ミニ万博 in 福岡」やデジタル社会づくりに貢献

する「高齢者のためのスマホ教室」、ペットを迎え入れる社会づくりを目指す「Animal Destination(動物の行先)」など、ユニークな挑戦が数多く行われた。3月28日は、そのチャレンジプランの成果報告会が開催される運びとなっている。

発表は1個人・グループ当たり約8分で、成果発表後は「~君たちが主役! 未来に向かってチャレンジ~」をテーマにしたトークセッションも行われる。ト

採択されたチャレンジプラン

テーマ	チャレンジプラン	生徒の所属高校
地域活性化	ミニ万博 in 福岡	筑陽学園高等学校
	Shining Stars In the Future	筑陽学園高等学校
社会問題の解決	高齢者のためのスマホ教室	福岡県立東筑高等学校
	高校生が考える避難所作り ~防災キャンプにチャレンジ~	上智福岡高等学校
	AED普及プロジェクト	精華女子高等学校
	社会問題解決に繋がるアプリを開発	明治学園中学高等学校
	コンポストスターターキット開発プロジェクト	博多女子高等学校
ワンヘルス	叡智の泉復活プロジェクト	福岡県立八幡高等学校
	Animal Destination(動物の行先)	福岡舞鶴高等学校

ークセッションでは日本の次世代リーダー養成塾(本部東京・港区)の加藤暁子専務理事・事務局長がファシリテーターを務め、株式会社ベンナース(本社・福岡市)の井口剛志代表取締役社長と篠栗町議会議員の崎山佐穂氏がゲストスピー

カーとして登壇する。また、イベント全体の総司会は九州朝日放送株式会社(本社・福岡市)の長岡大雅アナウンサーが務める。

参加費は無料のため、同イベントに興味のある人はウェブサイトから申し込みのこと。

株式会社海星ムサシ

店舗運営のすべてを担う店長を目指せます!

●基幹事業 百貨店・スーパーマーケット内の鮮魚・精肉・惣菜専門店運営
●設立 1994年(平成6年)
●資本金 48,000,000円
●従業員数 650人

会社の強み・社風

当社は、全国的にも珍しい、肉・魚を併せ持つ専門店を運営しています。九州から関東まで広がる販売網。地域に合った食材はもちろん、より一層高い商品価値を創造し続けます。

〒810-0071 福岡市中央区那の津2-1-3
TEL 092-718-7311
URL https://www.kaisei-musashi.com

令和6年度入学者用 好評既刊

沖縄県の高校生のための進路応援BOOK 2024

巻頭特集 沖縄県から未来へ羽ばたこう!! 先輩たちの希望進路実現ストーリー

沖縄県内 高校生の就職事情・採用環境

進路決定までの流れ

進学編 就職編

▲好評既刊(2024年度版)

お問い合わせ 進路情報研究センター ライセンスアカデミー

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656
URL https://licenseacademy.jp/

第59号 高校の先生方との連携による紙面編集

キャリア & 就職支援ジャーナル

高等学校版

大学新聞社

発行日 ●令和6年2月29日
発行人 ●白田 康則
編集人 ●川窪 達也

取材・執筆・編集 ● 加藤 陽一 鬼頭 葵 田中めぐみ 渡部真由子 藤田 暁代 川井 仁美 伊藤 美穂

紙面デザイン・DTP制作 ● 三井加洋子

●ご意見・ご感想をお寄せください
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
編集 ☎ 03-5925-1668 営業 ☎ 03-5925-1705
E-mail info@daigakushinbun.com
URL https://daigakushinbun.com/

*本紙の記事・写真、および図版等の無断転載、複製、複写、翻訳を禁じます。[V-3330,258515#]
©大学新聞社 2024 Printed in Japan

フランスの教育 トピックス

待望の対面型日本留学フェアを開催！

日仏の相互理解図る交流が活発化
現地の若者に日本留学情報を提供

政治や歴史、宗教、ファッション、芸術、食文化など、さまざまな分野で世界に大きな影響を与えているフランス共和国。今夏はパリ市でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催予定で、現地の観光名所なども注目を集める。フランスでは、マンガをはじめとする日本のポップカルチャーや伝統文化に関心を寄せる若者が少なくない。本稿ではフランスの教育制度や日本の高校との交流の取り組み等をお伝えすると共に、昨年の10月にリヨン・パリの2都市で開催された「日本留学フェア」の様子を報告する。

フランスの教育制度に注目
方言言語の保存・教育にも熱心

国際交流基金(本部東京・新宿区)によれば、フランスの教育制度は初等教育5年間、前期中等教育4年間、後期中等教育3年間という「5-4-3制」となっている。各自の学習の進捗によっては飛び級や落第もあり得る仕組みが特徴だ。フランス語が公用語・国語であり、ヨーロッパ共同体(現・ヨーロッパ連合、EU)の複言語複文化主義に基づく言語遺産としての方言言語の保存と教育も活気を帯びている。

日本語学習者数は西欧で第1位
ポップカルチャーが広げる裾野

フランス国内において日本語の人気は根強い。同基金が昨年3月31日に公表した『2021年度海外日本語教育機関調査報告書』によると、21年度時点のフランスの日本語学習者数は2万9,569人。18年度実施の前回調査と比較して5,419人(22.4%)増えて、世界の国・地域別で第12位となった。前回調査時の第16位から四つ順位を上

げており、西欧諸国の中では学習者数、日本語教育機関数のいずれにおいても第1位に位置している。

教育段階別に見てみると、中等教育では日本語の学習動機として「アニメーション・マンガ・J-POP・ファッション等」をはじめとする文化や言語そのものへの興味を8割以上の機関が挙げており、関心が依然として高いことがうかがえるという。

フランスではバンド・デシネ(bande dessinée)と呼ばれるフランス語圏の漫画があり、漫画を愛好する人々が多い。現に、フランスのアングレーム市で毎年開催される「アングレーム国際漫画祭」では、つげ義春氏、萩尾望都氏など多くの日本人漫画家が受賞しているほか、フランス政府はこれまで、故・松本零士氏や高橋留美子氏など複数の日本人漫画家に芸術文化勲章「シュヴァリエ」を授与している。

これには、1970年代後半にフランス現地で放映されて伝説的な人気を博し、日本作品を呼び込む素地を形成した永井豪氏原作のアニメ「UFOロボ グレンダ

イザー」が寄与するところも大きい。フランスが日本文化の良き理解者であることは疑いようがない。

また、高等教育では7割以上の機関が文化や言語そのものへの興味を学習動機として挙げているほか、「自国内での現在の仕事・将来の就職」も主要な動機となっている。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大以降、21年のフランスの教育機関では比較的早い段階で対面授業が再開されたという。フランスでは、対面での言語学習が伝統的に好まれる傾向にあり、同報告書によればオンライン授業を実施している日本語教育機関の割合は41.7%と、西欧諸国全体の60.7%と比較して小さいのが特徴だ。

岡山県高梁市が交流事業
リヨンのアンペール高校

フランスの注目すべき直近の日本語教育トピックスとして、昨年の10月17～27日の期間、岡山県立高梁高等学校(岡山県高梁市)の生徒5人が派遣団としてフランスのアンペール高等学校(フランス、リヨン市)を訪問し、交流したことを紹介したい。

これは、高梁市の「令和5年度高梁市アンペール高校教育交流事業」の一環で、高梁市の職員に引率された生徒5人が10月18日から25日までリヨン市内のホストファミリー宅に滞在。アンペール高校の生徒と交流したり、世界遺産でもあるリヨン歴史地区を散策して現地の歴史や文化を学んだりした。20日には、アンペール高校内のチャペルで交流会が行われ、同校で日本語を学ぶ生徒ら約40人が「さくらさくら」「君をのせて」などの日本の歌を合唱して歓待した。

その後、岡山県立高梁高校の生徒らは折り紙、箸を使った豆移し、書道、けん玉、カルタなど日本の伝統的な文化や遊び等を紹介した。生徒たちは10月27



通訳を介さずに日本語でやり取りする参加者の姿も見受けられた

日に帰国。11月27日には、この教育交流事業の報告会が高梁市役所で行われ、引率した高梁市の職員と岡山県立高梁高校の生徒5人の双方の視点による報告がなされた。

対面型の日本留学フェア
貴重な情報収集の機会に

進路情報研究センター・ライセンスアカデミー(本社東京・新宿区)は昨年10月14・15日の二日間、フランス現地の2都市で「日本留学フェア」を開催した。初日の14日のリヨン会場はHôtel Mercure Lyon Centre Charpenne(フランス・リヨン市)で、参加校ごとにブースを設置し、来場者が自由に移動できる個別面談形式で実施した。リヨン市では日本留学に関する情報そのものがパリ市と比較すると少なく、日本留学系イベントの開催も多くはない。そのため、会場に足を運んだ来場者は熱心な様子で、ブースをていねいに一つずつ回って参加校の担当者の説明に耳を傾けていた。

翌15日のパリ会場はESPACE HERMES(フランス・パリ市)で、同じく参加校がブースを設置する個別面談形式で行った。パリ市内に所在するフランス国立東洋言語文化大学(INALCO)の学生を中心に、多くの参加者が訪れた。INALCOでは日本語・日本研究を専攻として博士課程まで学ぶことができることもあって、通訳を介さずに学校担当者から直接説明を受けるなど、日本語の運用能力に優れた者も見受けられた。同フェアでは書道教室も開催され、参加者の興味を引いていた。

また、ラ社は10月14・

15日の「日本留学フェア in フランス」に前後して、フランス現地の語学学校や文化交流センターなどを、同フェアに参加した日本語学校の関係者と一緒に表敬訪問した。

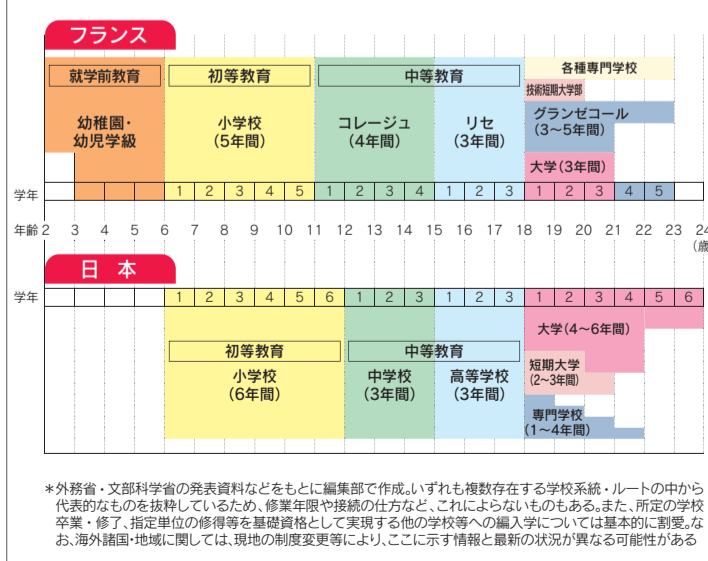
なお、「日本留学フェア」の前日の10月13日には、リヨン市内にある語学学校のリヨンラングを訪問。日本語学校の関係者がそれぞれ15分程度、自身の学校を紹介した。リヨンラングの教員は、教室を案内しながらていねいに同校の特徴を説明した。

10月16日、一行は、いずれもパリ市内にある日仏交流センターのEspace Japonやパリ日本文化会館などに足を運んだ。パリ日本文化会館は国際交流基金が海外に保有する文化会館の一つだ。1997年の開館以来、日本文化の発信拠点として日仏・官民共同でパリ市から日本文化の発信を行っている。

伝統文化からポップカルチャーまで、展示・舞台公演・映画・日本研究者を中心とする講演会・図書館・子ども向け事業・アトリエ事業などで多角的に紹介すると同時に、漫画・茶道・書道・いけばな・着物・和食・日本酒などのさまざまな体験講座や日本語講座を実施しているほか、オンラインコンテンツも充実させている。同フェアに参加した日本語学校の関係者も興味深い様子で同館を見学していた。

今夏には「パリオリンピック・パラリンピック競技大会」の開催を控え、世界中から注目を集めるフランス。ラ社はこれからも日本留学を目指すフランス現地の若者に向けて、最新かつ有益な情報を届ける機会を提供していく。

フランス・日本の学校教育制度(概略)



*外務省・文部科学省の発表資料などをもとに編集部で作成。いずれも複数存在する学校系統・ルートの中から代表的なものを抜粋しているため、修業年限や接続の仕方など、これによらないものもある。また、所定の学校卒業・修了・指定単位の修得等を基礎資格として実現する他の学校等への編入学については基本的に割愛。なお、海外諸国・地域に関しては、現地の制度変更等により、ここに示す情報と最新の状況が異なる可能性がある。